



平和祈念交流展

# 焼け跡からの 復興

姫路城と  
手柄山慰霊塔

2021年

9月7日[火]～10月31日[日]

開館時間 9:30～17:30 (入館は17:00まで)

休館日 毎週月曜日 (祝日の場合はその翌日)

平和祈念展示資料館 (総務省委託)

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号新宿住友ビル33階

Tel: 03-5323-8709

<https://www.heiwakinen.go.jp>

入館無料

主催 平和祈念展示資料館、姫路市平和資料館



@heiwakinen





罹災した姫路の市街地と川西航空機姫路製作所

高橋秀吉コレクション／所蔵：兵庫県立歴史博物館

平和祈念展示資料館では、第二次世界大戦における、兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者の労苦について、国民の理解を深めるための活動の一つとして、他館と連携した交流展を行っています。この度は、兵庫県の姫路市平和資料館との交流展を開催いたします。

姫路市は、昭和20(1945)年6月と7月の二度にわたる大きな空襲により、500名を超える尊い命が失われ、5万5千人以上の人々が罹災しました。空襲で市街地は焦土と化しましたが、姫路城は奇跡的に戦火を免れます。焼け跡にそびえる姫路城は、戦争で憔悴した人々にとって希望の灯となりました。

終戦後、姫路のまちはめざましい復興を遂げました。昭和31(1956)年には、太平洋戦争による全国の空爆犠牲者を追悼するために、姫路城の南西約2.5kmの手柄山山頂に慰霊塔が建立されました。この慰霊塔は地中に突き刺した剣の形をしており、未来へ向けた不戦の誓いを表しています。

本企画展では、姫路空襲と、戦災復興のシンボルとなった姫路城、そして平和の象徴である手柄山慰霊塔をご紹介します。

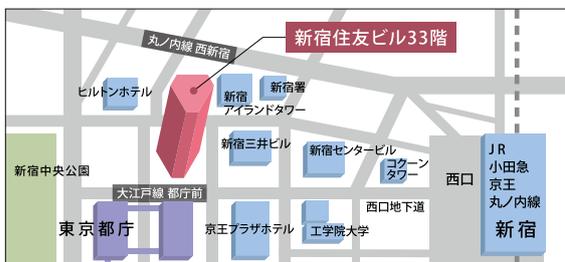
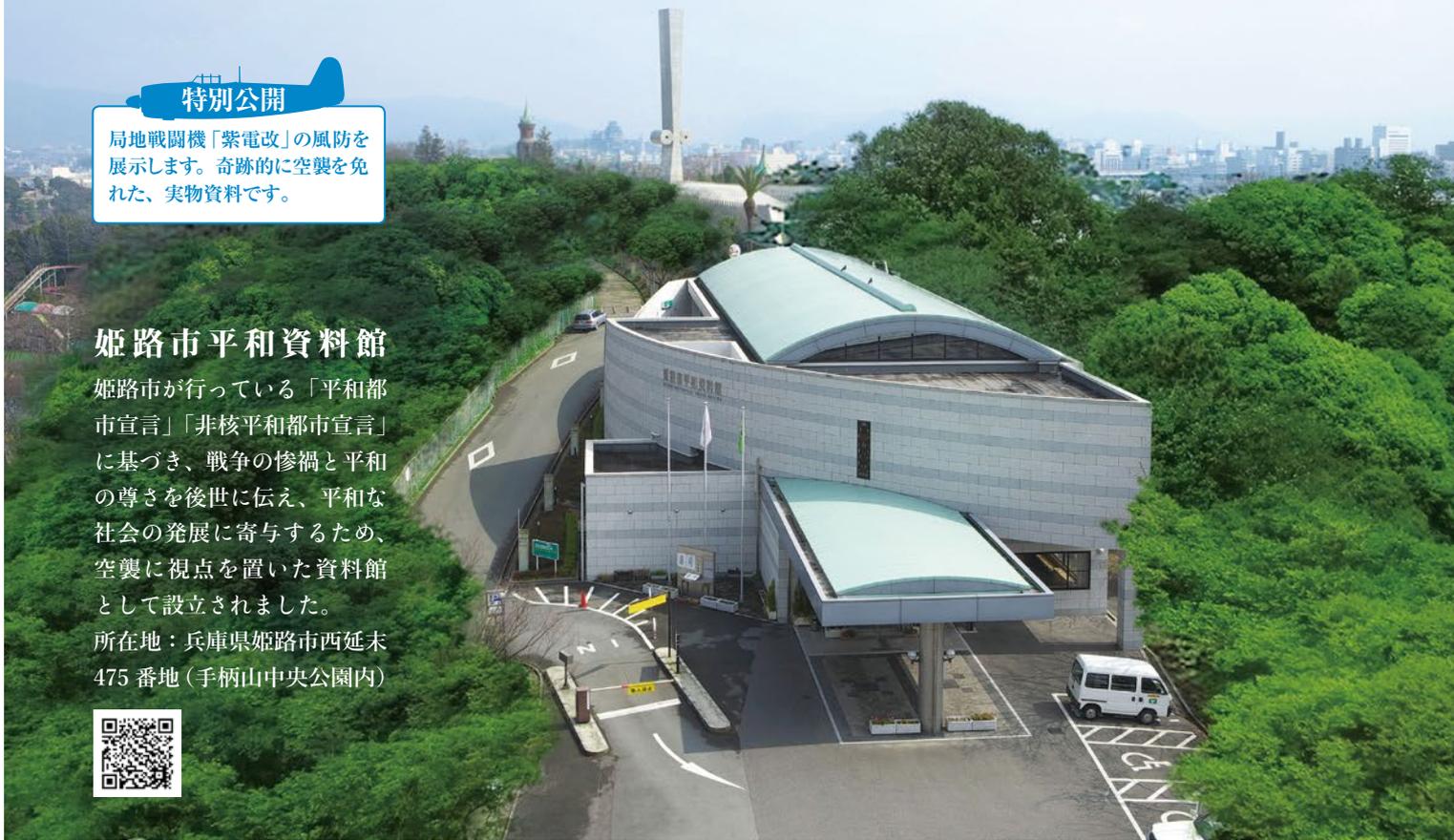
### 特別公開

局地戦闘機「紫電改」の風防を展示します。奇跡的に空襲を免れた、実物資料です。

## 姫路市平和資料館

姫路市が行っている「平和都市宣言」「非核平和都市宣言」に基づき、戦争の惨禍と平和の尊さを後世に伝え、平和な社会の発展に寄与するため、空襲に視点を置いた資料館として設立されました。

所在地：兵庫県姫路市西延末475番地(手柄山中央公園内)



- ▶ 都営大江戸線(都庁前) 駅 A6出口より徒歩約1分
- ▶ 東京メトロ丸ノ内線(西新宿) 駅より徒歩約5分
- ▶ JR線、小田急線、京王線(新宿) 駅西口より徒歩約10分

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、状況により臨時休館や開催期間変更となる場合があります。ご来館の前にホームページ等での確認をお願いいたします。



## 平和祈念展示資料館(総務省委託)